

月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

平成13年2月16日
内閣府

< 我が国経済の基調判断 >

景気の改善は、そのテンポがより緩やかになっている。

- ・ アメリカ経済の減速から輸出が弱含み、それに伴い生産の増加テンポも緩やかになっている。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいであり、失業率は高水準で推移するなど、景気は厳しい状況をなお脱していない。
- ・ 企業収益や設備投資は増加しており、自律的回復に向けた動きは続いている。

先行きについては、アメリカ経済の減速など懸念すべき点がみられる。

< 政策の基本的態度 >

政府は、経済を自律的回復軌道に確実に乗せるため引き続き景気回復に軸足を置きつつ、我が国経済を21世紀にふさわしい構造に改革する。

「平成13年度の経済見通し
と経済運営の基本的態度」
を閣議決定

平成13年度一般会計予算
を国会に提出

引き続き平成12年度補正予算等
の着実な実施を図る

平成13年度予算の早期成立
に努める